

運動療法禁忌項目チェックリスト

運動療法を開始する、あるいは当院腎リハ外来へのご紹介をご検討いただいている患者さんがいらっしゃいましたら、下記の症状・所見の有無をご評価ください。
1つでも当てはまる場合は運動療法は禁忌です。検査、治療を優先してください。

運動療法の絶対的禁忌		運動療法の相対的禁忌	
不安定狭心症		左冠動脈主幹部の狭窄	
循環に影響する不整脈		中等度の狭窄性弁膜症	
自覚症状のある 重症大動脈弁狭窄症		収縮期血圧 > 200、 または拡張期血圧 > 110	
症状のある心不全		肥大型心筋症または左室流出路狭窄	
急性感染症		頻脈/徐脈性不整脈	
眼底でⅡb以上の 高血圧性変化がある※1		高度房室ブロック	
糖尿病がある方は以下を評価			
空腹時血糖 \geq 250mg/dL			
増殖前網膜症、増殖網膜症※2			
糖尿病性足壊疽			
重度の自律神経障害			
筋・関節に異常があり運動不可			

※1 悪性高血圧などで透析導入になった患者さんで眼科受診をしているか確認してください。受診歴がなければ眼科受診を勧めてください。その他の患者さんについては眼科受診は不要です

※2 糖尿病のある方は、眼科を受診するあるいは通院先の眼科医に運動が可能かの確認を取ってください。

日本腎臓リハビリテーションガイドライン

心疾患疾患におけるリハビリテーションに関するガイドライン2012年版

糖尿病ガイドライン2020-2021

を参考に作成